

しかはま自然観察会  『人も自然もみんなともだち!』No.18	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7 ☎090-7275-9890 2017, 3, 4~5
--	---

第18回活動「土呂部のごちそう」

土呂部は標高920mの小さな盆地でした。
 ナラ林が繁り、その沢にはヤマメ・岩魚が泳いでいました。
 しかし、人々の生活は・・・

1, 日 時： 2017年3月4（土）～5日）一泊二日

2, 天 気： 二日間とも快晴

気温・・・朝は-7℃

日中は4℃～8℃

3, 交 通：○現地集合

・自家用車

・東武～野岩鉄道

4. 場 所：○日光市土呂部

○宿泊 水芭蕉苑 0288-97-1214

5, 参加者：総数 9人

内訳 2家族 大 人 2

中学生 2

小学生 3

幼 児 0

スタッフ 2

6, 活 動：日光茅ポッチの会（代表 飯村 孝文）の活動に合流

7, 活動の様子

○ 限界集落

昔は100人ほど住んでいたが、今は30人ぐらい。今日の参加者と同じぐらいしか住んでいません。

子どもは一人もいなく、分校は廃止されました。今、一番若い人は、ここの民宿の女将さん、62才の人です。

サル・鹿・イノシシの被害が大で、作物はつぐれない。

産業は、わずかに養魚（八潮マス）で、林業はない。

昔は、黒毛和牛の繁殖をしており、それなりに生活できた。

現在、民家以外には、民宿（みずばしょう苑）1軒、キャンプ場（ドロブツクル）、公民館のみである。

○ 地形

標高920^m。関東で一番寒いと言われている。
盆地のため、冷気がたまりやすい。アメダスがある。
回りの山々にはナラ林が繁り、昔は炭焼きをしていた。
溪流では、ヤマメ・岩魚が住み、釣り人がやってくる。
溪流には、アカショウビンが見られることもある。上空では、クマタカが飛翔してくることもある。
土呂部は、ドロ（柳の意味）のある谷（部）という意味。
民宿のすぐ近くを流れるオホツパ沢は、尾掘場と書き、昔、この上流で鉱物を掘っていたらしい。

○ 日光茅ボッチの会

里山風景と草原植物を守る活動を続けています。
保全対象採草地は、4, 93^{ha}。江戸時代から使われていたという。
その採草地で、ムラサキ（紫）の株10ほどを発見。その保護と増殖に取り組んでいる。

ムラサキ

ムラサキ科の多年草。高さ50cm。日当たりの良い草地に自生。夏、白い小さな花を開く。根は紫色で、乾燥したものが生薬の紫根で、解熱剤・皮膚病薬。重要な紫色の染料となる。昔は、高貴な人の着る紫色の織物をつくるために、このムラサキを守る人が特別にいた。野守。

メイプルシロップ

イタヤカエデの樹液を採取し、糖度を高めて、シロップづくりに挑戦中。
やがては、土呂部の特産物にしたいという。
樹液の糖度は1, 3%ぐらい（カナダ産はこの6倍くらい）。これを煮詰めて40分の1にまでするとシロップができる。
イタヤカエデの樹液の10分の1をいただくことで、生育には影響はない。
樹液は、ウイスキーに、ご飯に、コーヒーに、といろいろ試されている。

○ 1日目（3月4日）

齋藤家は車で、私たちは川治温泉駅に迎えにきてもらう。

まずはメイプル樹液のお茶をいただく。

10時活動開始。かんじきをつけて、大曾根の雪原を歩く。雪の下は茅場だ。地もとの人々は、茅場のことを「カッパ」と呼ぶ。雪が積もれば、格好のスキー場だ。集落がにぎわっていた頃は、ここにロープのリフトをつけて、スキーを楽しんだという。今は、赤錆た発動機の姿だけが残っていた。

尾根でツノハシバミの木を、飯村さんがみつけた。「ヘーゼルナッツのような味がします」。下りは、ソリで、尻で、シートで、滑り下りた。

昼食は、雪のテーブルで。メイプル樹液で炊いた大きなおにぎりとおにぎりと地もとの「ばんだいもち」という汁物。

いよいよメイプル樹液のタンクを取りに行く。管をはずすと、樹液がしたたり落ちる。手ですくって飲む。ほのかな甘み。ドリルで穴を開け、タッピングし、管でタンクにつなげる。寛太くんが、いっぱい働いてくれました。

民宿は、布団の上げ下ろしまでしてくれた。サービス満点！

○ 2日目 (3月5日)

9時出発。オホツパ沢を登って行く。カラハナソウを見つける。日本のホップだという。サルや鹿のウンチを踏まないように進む。鹿の獣道を見つける。着いた所がオホツパの採草地だ硬い雪になっているため、ぬからない。早速、子どもたちはソリで遊ぶ。何回も往復する。私たちは栗とコナラの大木の下で、ひなたぼっこを決め込む。風もなく、暖かい！

雪、ソリで奇声を上げる子どもたち。見渡す限りのナラ林。影が走る。見上げるとトビだった。

ムラサキを見に行く。キツネの穴。鹿のウンチと足跡。

時間がゆっくり流れて行く。

昼食は、大瀧の蕎麦。八潮マスの天ぷらと一口刺身がつく。うまい！茶の湯もごちそうになる。

そして、青山ご夫妻に川治温泉駅まで送ってもらう。

2日間のおもてなしに、感謝万感！

8, 親と子の、いきいき感想

○ じゅえきのメイプルシロップがつくれて、うれしかったです。

あと、いちごパンがおいしかったです。

あと、雪にチョコをいれて食べたらおいしかったです。

そりすべり いっぱいやって つかれたよ

鹿浜五色桜小2年

○ この2日間で印象に残ったことは、二つあります。

一つ目は、樹液です。最初飲んだ糖度は、1, 2でした。それをにつめて、糖度を6, 0倍になりました。僕は、最初に飲んだときの甘さのほうがよかったです。

二つ目は、雪の道をかんじきで歩いたことです。かんじきがないと、雪の中にうまってしまいました。

来年も行きたいです。

そりすべり たくさんすべって たのしいな

第七中2年

○ 思っていたほど雪が多なくて、雪はかたくなっていた。

じゅ液が甘くておいしかった。かんじき体験もできて、良かった。

かんじきを はいて歩いた 雪の道

鹿浜五色桜小6年

○ シロップをもらって、家でにつめたら、すごく甘かったです。木から出た水分がすごく多くて、びっくりしました。雪があったので寒いかなと思ったけど、けっこう暑かったです。楽しかったです。

鹿浜菜の花中2年

○ 一番たのしかったことは、そりです。なので、また行きたいです。

雪の道 ドサドサ歩き くつはいる

鹿浜五色桜小4年

土呂部への道

土呂部の集落
唯一の民宿

